

# 治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町  
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664  
ホームページ <http://zensuiren.org/>  
お問い合わせ [zensuiren@k2.dion.ne.jp](mailto:zensuiren@k2.dion.ne.jp)  
編集・発行 檜崎晃久



## ● 目 次

地域の安全と元気を支えるために	2
上野遊水地運用開始を祝う式典を開催	4
東北地方治水大会の御案内	8
中部地方治水大会の案内	11
四国地方治水大会の開催について(ご案内)	13

# 地域の安全と元気を支えるために

## To build a safe and lively society



国土交通省水管理・  
国土保全局長

金尾 健司

7月31日付で水管理・国土保全局長を拝命しました金尾です。約1年ぶりの本省勤務となりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、台風8号、11号、12号、前線豪雨等により、各地で甚大な水害・土砂災害が多発しました。特に、広島市で発生した大規模な土砂災害や、戦後最悪の火山災害とも言われる御嶽山の噴火により、多くの方が犠牲になられました。改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

今年に入っても、5月には口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生し、箱根山や浅間山などで火山活動が活発化しています。私も口永良部の噴火の際は、前職の九州地方整備局で陣頭指揮をとって対応してまいりましたが、迅速な避難により、幸い、死傷者がなく安堵しました。また、7月の台風11号による大雨の影響により、那賀川(徳島県)では、2年連続での浸水被害、熊野川等でも溢水等による浸水被害が発生しました。このように、我が国は、台風や梅雨前線による豪雨とそれに伴う土砂災害をはじめ、大規模地震、津波、火山噴火など、様々な自然災害が発生する厳しい条件下にあります。既にお感じになっている方も多いと思いますが、近年、雨の降り方が局地的・集中化・激甚化しており、例えば、時間雨量50mmを超えるような集中豪雨は、約30年前の約1.4倍になっています。平成25年9月に公表されたIPCC第5次評価報告書でも、今後、地球温暖化に伴う気候変動により、極端な降水がより強く、より頻発する可能性が非常に高いことが示されています。こうした状況を踏まえ、危機感をもって、ハード・

ソフトの両面から計画的、総合的に防災・減災対策を一層推進してまいります。

また、切迫する南海トラフ巨大地震や首都直下地震に対しても、各々の地震で想定される被害特性に合わせ、実効性のある対策を推進することが重要です。津波浸水被害リスクの高い地域等において、河川・海岸堤防等の嵩上げ及び耐震化を着実に進めるとともに、それぞれの対策計画に基づいた取り組みを総力を挙げて進めてまいります。

これらとあわせて情報発信していかなければならないのが、社会資本整備のストック効果です。これまで、公共事業は、景気対策として短期的に経済を刺激するフロー効果で議論されることが多かったことも事実です。しかし、社会資本が本来持つ効果を発揮することにより、新たな投資・成長を呼び込むストック効果に目を向けることが重要です。例えば、災害リスクの低減に寄与するインフラは、投資リスクを下げることで、その地域への産業立地を促進するなどといったストック効果があります。今後、こうした本来の効果について積極的に情報発信してまいります。

さて、今国会では、水防法等の一部を改正する法律案を提出し、5月13日の参議院本会議において、全会一致で可決・成立しました。水防法、下水道法、日本下水道事業団法の3法一括法となっておりますが、今回の大きな改正としては、水防法の改正によって、最大規模の洪水・内水・高潮に関する浸水想定区域を新たに設定するとともに、下水道・海岸の水位により浸水被害の危険を周知する制度を創設いたしました。また、特にターミナル駅周辺の地下空間など、周辺のビルとの一体的な活用が進む一方で、洪

水・内水・高潮による浸水に対する脆弱性が高まっている状況を受け、浸水に脆弱な地下街の避難確保や浸水防止対策の充実・強化を図ってまいります。あわせて、これまで各地でタイムラインの策定を進めてきましたが、先般、策定された荒川下流のタイムラインは、20 機関、37 部局もの多数の関係者が参加した全国で初めての本格的なタイムラインです。このような多数の機関が参加する本格的なタイムラインの取り組みを全国で進め、円滑な災害対応の実施や主体的な避難行動等を促進してまいります。

さらに、昨年 8 月の広島市での土砂災害を受けて、土砂災害防止法が改正され、本年 1 月に施行されました。特別警戒区域等の指定を促進するために、全ての都道府県において、今後おおむね 5 年以内に、基礎調査を完了させる目標が設定されたところです。今後も財政面・技術面で各都道府県をしっかり支援し、区域指定の促進を図ってまいります。また、警戒避難体制の整備、避難勧告の発令等を支援するためのきめ細やかな情報提供、土石流に対する緊急調査の実施による監視の強化など、ハード・ソフト一体となった対策を推進してまいります。

一方で、避難やまちづくりなど、用途に応じたリスク情報の提供などにより減災対策の強化を図ってま

いります。災害リスクの高い地域を提示し、災害リスクの低い地域への居住や都市機能の誘導を促すとともに、居住等を誘導すべき区域等においては、河川や下水道等の施設整備を重点的に推進してまいります。

インフラの老朽化対策も着実に進め、地域の安全・安心の確保に全力を尽くしてまいります。直轄管理施設のほか、地方公共団体等が管理する施設についても予防保全を基本とした維持管理・更新が適切に行われるよう、必要な支援を行ってまいります。長寿命化計画に基づく戦略的な維持管理・更新により、コストの縮減や平準化を図ってまいります。

こういった取り組みに加えて、河川空間を賢く使うことにより、魅力ある水辺空間を創出し、水辺の賑わいを取り戻し、地域活性化に貢献してまいります。特に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を 2020 年に控え、隅田川等において、魅力ある水辺空間の創出を支援してまいります。

最後になりますが、国民の安全・安心を確保し、地域が元気になる取り組みを進めていく所存です。皆様の引き続きのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

# 上野遊水地運用開始を祝う式典を開催

～三重県伊賀市の 900 万 m<sup>3</sup> の洪水調整能力で  
淀川下流域を守る上野遊水地～

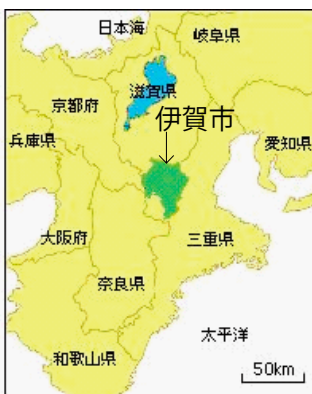
平成 27 年 7 月 19 日  
三重県 伊賀市



## はじめに

伊賀市は平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 1 市 3 町 2 村が合併して成立しました。

当市は三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しています。近畿圏、中部圏のほぼ中間に位置し、大阪・名古屋ともにそれぞれ 1 時間 30 分の距離にあります。



市域は東西約 30km、南北約 40km の縦長で面積は約 558 平方キロメートルに達し、県下で 3 番目に広い行政区域を持つこととなりました。

北東部を鈴鹿山系、南西部は大和高原、南東部を布引山系に囲ま

れた盆地を形成しており、低地・台地は少なく、丘陵地が多くなっています。

土地利用としては、森林が全体の約 62% を占める一方、農用地が約 14% となっており、限られた平地や台地を農地や宅地として利用しています。

また、水系は大阪湾に流れ込む淀川の源流域で、岩倉峠を介して大阪へ流下するとともに近畿圏の水源地ともなっています。

## 伊賀市の産業

主要産品である伊賀米は日本穀物検定協会の食味ランキングで 4 年連続「特 A」を受賞しています。また、映画監督黒澤明も愛したという伊賀牛が育まれました。古くから手工業が盛んで、伊賀組紐や伊賀焼は伝統工芸品として国の指定を受けています。

このほか、藤堂藩の城下町で、和菓子づくりも盛んで今も多く和菓子屋が軒を連ねています。その中でも「かたやき」という煎餅は特徴的で、NINJA の非常食と伝えられていますが、文字通りたいへん固く、

木槌で割ってから食べなければならないほどです。ぜひお越しの際はご賞味ください。また、自慢の米と水を使った伊賀酒も全国的に高い評価を得ています。近年では海外への輸出もしています。

地域の物流については、昔は木津川を利用して大和朝廷に伊賀産木材を運んで寺を建てた記録が残っているなど水運が盛んで、江戸時代まで舟運で大阪に米などの産品を運んでいましたが、安政の伊賀上野地震で地盤が沈下して水の流れが変わり、舟運は廃れていきました。その後明治 30 年代には JR 関西本線が整備され、物流も鉄道利用へと移り変わり、そして昭和 40 年に自動車専用道路として名阪国道が開通したことにより、沿道の工業化が進み、現在は多くの工場が立地し、工業出荷額が飛躍的に伸びるなど一大生産拠点となり、物流もこの道路が中心になっています。

### 遊水地整備に至る経緯

伊賀市を流れる一級河川の木津川、服部川、柘植川の合流部直下流の岩倉峡という狭窄部のため、上野地域はたびたび洪水被害を受けてきました。

特に昭和 28 年には 8 月 15 日の東近畿（南山城）水害で 910 万 $\text{m}^3$ が、9 月 25 日の台風 13 号で戦後最大の 1,610 万 $\text{m}^3$ が湛水しています。この台風 13 号の際には日本三大仇討ちの一つで有名な鍵屋の辻で 2.52m の高さまで浸水したという記録が残っています。また、昭和 36 年の伊勢湾台風でも 1,550 万 $\text{m}^3$ が湛水し、同地点で 2.29m の高さまで達しました。

これらの水害では多くの尊い人命も失われ、地域としては岩倉峡の開削の要望をしてまいりました。しかし、岩倉峡を開削すれば出水時に下流域に大きな影響を及ぼすことが懸念されたことから、国は昭和 43 年に木津川上野地区治水計画（上野遊水地計画）案



平成 26 年 3 月 24 日「浸水の記録」除幕式

岡本伊賀市長、長谷小田自治会長代理、三上木津川上流河川事務所長（当時）

を策定し、上野遊水地と川上ダムの建設、河道掘削の 3 つを柱とした抜本的な治水対策がこの計画に記載されました。これを受けて、翌年の昭和 44 年に上野遊水地工事が着工され、46 年の時とこの間 620 億円を投下して本年 6 月 15 日から遊水地機能の運用が開始されるに至りました。これは地権者及び地域の協力と木津川上流直轄改修促進期成同盟会活動の成果のお陰と感謝しています。

しかし、この遊水地運用開始は事業の完成ではなく、引き続き上野遊水地整備と河道掘削などの残事業を早急に進めていただく必要があります。

### ● 戦後の洪水被害状況

年月日	湛水量 ( $\text{m}^3$ )	湛水面積 (ha)	湛水戸数 (戸)	備考
昭和 28 年 8 月 15 日	9,100,000	470	94	東近畿(南山城)水害
昭和 28 年 9 月 25 日	16,100,000	540	200	台風 13 号
昭和 34 年 9 月 26 日	15,500,000	535	195	伊勢湾台風
昭和 36 年 10 月 28 日	12,700,000	510	140	前線豪雨
昭和 40 年 9 月 17 日	10,700,000	505	35	台風 24 号
昭和 57 年 8 月 1 日	10,700,000	505	36	台風 10 号



岩倉峡から淀川そして大阪湾へ

● 上野遊水地の概況

事業概要	事業費	717億円
	本川堤延長	7.68km(4遊水池合計) 長田：2.05 km 木興：1.40 km 新居：2.01 km 小田：2.22 km
	周囲堤延長	10.62km(4遊水池合計) 長田：2.81 km 木興：2.50 km 新居：2.88 km 小田：2.43 km

河川名	遊水池名	遊水池面積 (ha)	湛水容量 (万㎡)
木津川	長田遊水池	55.1	172
	木興遊水池	70.0	242
服部川	新居遊水池	61.2	206
	小田遊水池	62.2	280
計		248.5	900

上野遊水地運用開始式典の開催

平成 27年 6月 15日に上野遊水地が運用開始されたことにともない、去る7月 19日に上野遊水地運用開始式典を開催しました。この式典は近畿地方整備局と伊賀市が共催して執り行いました。

当日の式典は地元の伊賀上野白鳳太鼓の演奏で始まり、久寿玉の開披の後、主催者あいさつに立った、森昌文近畿地方整備局長は「関係者への感謝」と「流域住民の安全と安心、地域の生活基盤の安定に多大な効果を発揮させるように努めた成果が発現した」と式辞を述べられました。続いて岡本栄伊賀市長は「上野遊水地の運用開始で洪水の危険性が軽減



岡本伊賀市長のあいさつ



うえの賢一郎政務官の祝辞

したこと、遊水地整備の進捗で企業進出が進み地域が発展した、引き続き早期の事業完成を期待したい」とあいさつしました。来賓の川崎二郎衆議院議員からは「岩倉峡開削の要望は下流域に大きな影響を与えるため、遊水地という苦渋の選択に至った事実を忘れてはならない」との祝辞をいただき、さらに中川康洋衆議院議員、芝博一参議院議員、続いて鈴木英敬三重県知事から「遊水地の効果を最大限発揮するために、消防団活動などのソフト対策も充実していきたい」、うえの賢一郎国土交通省政務官からは「河道掘削やダム整備など課題解決に向けて精力的に取り組んでいく」という祝辞を受け、最後に木津川上流直轄改修促進期成同盟会副会長の松本勇笠置町長から「木津川上流の治水対策は今後も積極的に進めることが必要だ」と同盟会から激励するあいさつをいただ

きました。その後、舞台を変更して、森田宏木津川上流河川事務所長から上野遊水地整備の事業概要について説明を行いました。

そして、遊水地周辺の立地企業を代表して登壇した株式会社エクセディの久川秀仁社長から「遊水地整備とその運用開始を受け、上野工場の拡張(100億円規模)の決定を行った」と事業を評価する報告を受けました。

このことは上野遊水地事業の進捗と併せて、郊外型大型商業施設の進出や住宅化など土地利用の変化が目覚しく進んできたこと、さらに進出企業も安心できる経営環境が整ったというストック効果が大きく現れた結果です。

また、地域の代表として登壇された喜多都夫上野遊水地区連絡協議会長から、引き続き河道掘削や川上ダム事業を計画通り進められ早い完成を強く望むと期待が寄せられました。



照明車と衛星車の展示

以上



遊水地に関する地域内の保育所(しろなみ保育所、新居保育所、曙保育園、長田保育園、ひかり保育園)の園児に「川に親しむ」をテーマに絵を描いてもらい当日展示しました。



伊賀上野白鳳太鼓の演奏。式典を盛り上げていただきました。

# 東北地方治水大会の御案内

平成 27 年 10 月 7 日(水) 13:30 ~  
 仙台市ホテルメルパルク仙台  
 事務局：宮城県土木部河川課内

平成 27 年度東北地方治水大会の事務局を担当します宮城県から、本県の PR と大会の御案内をさせていただきます。

宮城県は、本州の北東部に位置し、西部に奥羽山脈が南北に走り、東部には北上山地が岩手県から続いて牡鹿半島に達し、阿武隈山地が福島県から続いて岩沼市に達しています。奥羽山脈の東側には幅 10 ~ 30 km の丘陵地がなだらかな起伏を見せています。奥羽山脈からは、これを水源とする迫・江合・鳴瀬・吉田・七北田・広瀬・名取・白石などの河川が多くの支流を集めて東に向かって流れ、岩手県からは北上川が、福島県からは阿武隈川が、太平洋に注いでいます。

一方海岸線は、牡鹿半島を境に北は岩手まで続く「三陸南沿岸」、南は福島まで続く「仙台湾沿岸」に二分され、その海岸線総延長は約 830 km であり、「三陸南沿岸」は、リアス式海岸を形成し、天然の良港となっており、一方「仙台湾沿岸」は、千年の松の緑に映える日本三景松島を除き、概ね砂浜が続く柔らかな曲線を描く海岸線となっています。

宮城県の地形上の特徴として、北上川、鳴瀬川、名取川、阿武隈川などによってつくられた沖積平野が広がっていることがあげられ、特に迫川流域は河口から 50 ~ 60 km 上流にありながら標高が 5 ~ 10 m と低く、そこには渡り鳥の飛来地として伊豆沼・内沼・蕪栗沼などの湖沼が残っています。

宮城県平野部は、奥羽山脈の影響で、台風や梅雨による地形性の豪雨が発生しやすく、洪水被害を受けやすい地形となっています。また、北部沿岸ではリアス式という地形上の特徴から、津波や高潮による前浜の浸食などの被害が発生しています。

宮城県内を流れる河川は、阿武隈川水系、名取川水系、鳴瀬川水系及び北上川水系の 264 一級河川、七北田川水系ほか 69 二級河川で、市町村管理河川も含め 388 河川、うち県管理は 325 河川で河川延長は 2,134.5 km となっています。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による津波は、三陸沿岸では 30 m、仙台湾沿岸でも 10 m を超える大津波が発生し、県内では死者 10,538 名、行方不明者 1,242 名、家屋の全・半壊が 238,126 棟となっています(H27.7.31 現在)。また、河川や防潮堤、水門などの公共土木施設も甚大な被害を受けました。

現在、宮城県土木部では、「宮城県社会資本再生・復興計画」に基づき、公共土木施設の災害復旧を完了に向けて加速度的に進めるとともに、上下流一体となった総合的な防災力の強化を図ることにより、「粘り強い県土構造の構築」を目指しています。

また、地震に起因して広域的な地盤沈下が発生し、低平地を中心に洪水被害の可能性が高まっていることから、河川施設の整備を重点的かつ効率的に実施するとともに、全国的に発生しているゲリラ豪雨等異

## ● 宮城県内の河川・海岸施設災害復旧事業



名取市～岩沼市 仙台湾南部海岸【国施工】



追波川(石巻市) 災害復旧工事状況【県施工】





大曲地区海岸（東松島市）災害復旧工事状況【県施工】



貞山運河（岩沼市：五間堀区間）整備イメージ図【県施工】

常気象による洪水被害の対策強化に努めているところです。

このうち、仙台空港や工業団地など、沿川地域に重要施設の並ぶ川内沢川については、治水安全度を向上させるため、平成 7年度より整備を進めてきましたが、今年 6月に完成しました。また、資産の集中する内陸部の大規模河川や水害常襲河川の迫川や平家川などの河川整備も推進しているところです。

ダム事業についても、昨年 5月に長沼ダムが完成したほか、新たに昨年 4月に川内沢ダムがダム建設事業として採択され、現在、建設に向けた調査を進めています。あわせて、洪水予報河川及び水位周知河川における危険水位の見直しや洪水情報の迅速な提供、水防体制の強化、水害から命を守るプロジェクトの周知など、ソフト対策の推進も継続して図ることとしています。

震災からこれまで、宮城県の復旧・復興に対しましては、県内外の皆様より多くの御支援をいただき、着実に進んでまいりました。誠にありがとうございます

す。

平成 27年度は「宮城県震災復興計画」における「再生期」の 2年目として、より一層、復旧・復興の加速を県内外の皆様にも実感していただけるよう、宮城県一体となって取り組んでいきます。

今年の東北地方治水大会の特別講演では、昨年 9月から本年 3月まで NHK 連続テレビ小説で放送されました『マッサン』に関連して、ニッカウキスキー株式会社の仙台工場長 長谷川裕寿様から、竹鶴政孝氏が宮城県に工場を作ることとした経緯等について、川とのつながりを含めて御講演を頂くこととしております。

収穫の秋を迎え、食材王国みやぎを目指す県内には会場となる仙台市のほか、蔵王や栗駒山などの山の幸や金華山沖をはじめとした海の幸など、豊富な特産物がごございますので、是非、宮城に足を運んでいただき、初秋の宮城を楽しんでいただければ幸いに存じます。



川内沢川放水路 竣工状況（名取市）【県施工】



長沼ダム 竣工式（登米市）【県施工】



貞山運河「桜」植樹会（仙台港多賀城地区）



蔵王エコーライン（蔵王町）

途中には滝見台などの名所が随所であり、蔵王刈田岳山頂付近の御釜、山頂近くから見る紅葉の蔵王連峰は圧巻。



秋保大滝（仙台市）

仙台市の奥座敷・秋保温泉にあり、多くの人を魅了する秋保大滝。

## 中部地方治水大会の案内

平成27年10月9日(金) 13:30～  
津市 三重県総合文化センター 多目的ホール  
事務局：三重県県土整備部河川課内

平成 27 年度の中部地方治水大会の事務局を担当します三重県から本県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

三重県では来年 5 月に、サミットが伊勢志摩地域で開催されます。このサミット開催地の玄関口にある伊勢神宮には、「お伊勢参り」と称して全国各地から大勢の参拝客にお越しいただいた歴史があります。本治水大会では、皇學館大学 岡田登教授より、「伊勢参宮と宮川」と題して、その歴史などについて記念講演をいただく予定となっております。

三重県は、日本列島のほぼ中央、太平洋側に位置し、東西約 10 ～ 80km、南北約 180km で南北に長い県土となっています。中央部を流れる櫛田川に沿って日本で一番大きな断層の中央構造線によって、北部地域、南部地域に県土が分けられます。

北部地域は東に伊勢湾を望み、北西には養老、鈴鹿、笠置、布引等 700 ～ 800m 級の山地、山脈が連なっています。一方、南部地域の東部にはリアス式海岸が志摩半島から熊野灘に沿って紀伊半島東部を形成し、西部には紀伊山地が形成されています。

県内を流れる河川は、一級河川 7 水系 363 河川、二級河川 73 水系 192 河川があります。

このうち、国が一級河川 7 水系 37 河川、延長 233.5km を管理し、県は一級・二級あわせて 80 水系 547 河川、延長 2,310.2km を管理しています。

### ● H23 紀伊半島大水害



(H23 台風 12 号 熊野庁舎)

また、三重県は、温暖な気候を有する反面、地理的に台風の経路となることが多く、これまでも台風による大きな被害を受けてきました。

特に被害が大きかった災害には、昭和 34 年 9 月 26 日の伊勢湾台風があります。この時は強風による吹き寄せと低気圧による吸い上げによって起こった高潮により、県内で死者・行方不明者 1,233 人、負傷者 5,688 人という大きな被害が発生しました。

その後、昭和 49 年の七夕豪雨や昭和 57 年の台風 10 号でも甚大な被害が発生しています。

最近では、平成 16 年 9 月の台風 21 号により、三重県の中南部を中心に大きな被害を受け、赤羽川、船津川や横輪川などで破堤したほか、多くの河川で堤防の決壊や越水などが発生し、伊勢市、海山町(現紀北町)、紀伊長島町(現紀北町)で大規模な浸水被害がありました。

また、平成 23 年 9 月には紀伊半島大水害が発生し、県南部の相野谷川で破堤したほか、井戸川や志原川などの河川で堤防の決壊や越水などが多数発生し、熊野市、御浜町、紀宝町の居住地域等で大規模な浸水がありました。

さらに幹線道路が通行止めとなるとともに JR の運行が休止となり、熊野地域全体が孤立状態となる大災害でした。本年 4 月に、通行止めとなっていた最後の県道が通行可能となり、復旧への一区切りが付き



(H23 台風 12 号 井戸川)

ました。

この災害に関するパネルをホールで掲示する予定ですので、ご覧いただければと思います。

現在、本県では、平成 24 年度に長期的な観点から三重のあるべき姿を展望し、県政運営の基本姿勢や政策展開の方向性を示した「みえ県民力ビジョン」を策定し、社会情勢の変化に対応し、県民の皆さんと力を合わせて新しい三重づくりを目指しており、この計画に基づき、治山・治水・海岸保全の推進に取り組んでいます。

県管理の河川では、時間雨量 60mm の雨による洪水を安全に流下させることを最低限の目標として整備を進めていますが、河川整備率は 39.1% と低く、毎年のように浸水被害が発生しています。

そのため、地域の治水安全度を向上させる必要があり、効率的・効果的な河川改修に取り組んでいます。

また、南海トラフ地震等の大規模地震への備えとして、河口部にある大型水門や排水機場の耐震対策を進めるとともに、河川改修にあわせて堤防の耐震対策を実施しています。

しかし、自然災害から人命を守るには、ハード対策のみでは、限界があるため、雨量・水位情報の提供などのソフト対策を組み合わせることにより、被害

の最小化を目指して取り組んでいます。

さて、本県では、三重県観光キャンペーン「～実はそれ、ぜんぶ三重なんです。～」を実施中です。

三重県には、熊野古道や伊勢神宮などの観光名所があり、伊勢えび、松阪牛などの特産品も豊富ですが、それらが全部、三重県のものだと知っている人は実はあまり多くないと感じており、もっと三重県を知っていただくというものです。

また、冒頭でも述べましたとおり、来年の 5 月 26 日、27 日に伊勢志摩サミットが三重県で開催されます。

伊勢志摩は、日本の精神性、豊かな文化・伝統、美しい自然を感じていただける地域です。この地でのサミット開催は、伊勢志摩、三重県の知名度の向上や国際観光地としてのレベルアップだけでなく、地域の総合力向上にもつながる機会であり、県としても全力で取り組んでいるところです。

中部地方治水大会をはじめ、三重県に来県された時には、ぜひ三重の特産品をご賞味いただき、歴史や風光明媚な景色を楽しんでいただければと思います。

最後になりますが、皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。



伊勢神宮（外宮）



伊勢志摩

# 四国地方治水大会の開催について（ご案内）

平成 27 年 10 月 20 日 13:30 ~  
高松市 かがわ国際会議場  
香川県 土木部 河川砂防課

今年度の四国地方治水大会事務局を担当している香川県から、本県の PR も含め御案内申し上げます。関係者の多数の御参加をお願いいたします。

## 香川県のすがた

香川県は、総面積が約 1,877km<sup>2</sup>と全国で最も小さく、四国の東北部に位置します。地形は北向きの半月型で、南部には讃岐山脈、北部には讃岐平野が展開し、北は備讃瀬戸、西は燧灘に面し、大小 116 の島々が多島美を織りなしています。

また、日本で初めて国立公園に指定され、風光明媚な景観として知られる瀬戸内海国立公園の中心に位置しており、地勢は広い平地と低い山地でおおよそ相半ばしています。

四季を通じて温暖少雨で、美しい自然と温暖な気候に恵まれた香川県は、万葉集にも、「玉藻よし讃岐の国は 国がらか見れども飽かぬ」と詠われています。



特別名勝 栗林公園

## 河川の現況

香川県の河川は、一級河川が 2 水系・16 河川・延長 87km、二級河川が 79 水系・275 河川・延長 1,008km であり、この他に準用河川が 116 河川・延長 83km 指定されています。

香川県の河川は、その水系の多くが讃岐山脈に源を発し、山間部では急勾配で流れ、平野部で急変して緩やかとなり、扇状地を形成しながら瀬戸内海に流れ込んでいます。

気候は、瀬戸内式気候に属し、高松気象台の最

近 30 年間（昭和 56 年～平成 22 年）のデータによると、年間の平均降水量は、1,082mm で、全国平均 1,610mm の約 3 分の 2 です。

しかも、降雨は梅雨期と台風期に集中し、平常時は河道にほとんど流水が見られない河川が多い一方で、洪水になると短時間のうちに流下します。

このため、平成 16 年のような台風や集中豪雨の際には、洪水の被害に見舞われており、治水対策として河川改修などに努めています。また、渇水時には、農業用水を確保するための水争いが古来より数多く記録され、そのため、14,619 に及ぶため池や 15 の県管理ダムを築造してきましたが、近年、気候変動に伴う少雨化の傾向や年間降水量の変動幅の増大などにより、渇水が頻発するようになってきました。



豊稔池（石積式 5 連マルチプルアーチダム）

## 近年の浸水被害と今後の取り組み方針

平成 16 年には、台風 16 号による高潮被害、台風 23 号による水害・土砂災害被害など、計 9 個の台風により、全国一狭い県土に、その年は、水害による被害額が全国 3 位となる記録的な被害が発生しました。また、平成 23 年度にも 4 個の台風が襲来し、県内各地で甚大な被害が発生しました。

高松市東部を流れる春日川では、平成 16 年の台風 23 号による洪水により、甚大な浸水被害が発生したため、「河川激甚災害対策特別緊急事業」として重点的に整備を進め、平成 22 年 8 月に事業が竣工しました。



台風による春日川での被害状況（平成 16 年度）

その他、高松市西部を流れる本津川などにおいても、再度の災害防止を図るため、計画的に河川改修工事を実施しています。



施工前



施工後

本津川における河川改修事業

また、近い将来発生が予測されている南海トラフを震源とする地震の被害想定を踏まえた地震・津波対策については、発生頻度が比較的高く、津波高が低いものの大きな被害をもたらす津波、いわゆる L1 津波と、L1 津波を引き起こす地震に対応する地震・津波対策として、平成 27 年 3 月に策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、10 年ごとにⅠ期からⅢ期に区分し、概ね 30 年で優先箇

所から重点的・集中的に対策工事を実施することとしています。

優先度の高い箇所は、Ⅰ期計画として、平成 27 年度から 10 年間で整備することとし、そのうち、地震直後に堤防等が沈下し、甚大な被害が想定されるなど、特に優先度が高い箇所は、前期の 5 年で整備することとしています。

## 四国地方治水大会の開催

最後になりましたが、本大会は、史跡高松城跡玉藻公園西側の、JR 高松駅を中心としたサンポート地区にある「かがわ国際会議場」を会場とし、かつて本州と四国を結ぶ宇高連絡船が就航し、情緒豊かな四国の玄関として知られた高松の、多島美で知られる瀬戸内海を背景に開催されます。

香川県は、全国的に非常に有名な「讃岐うどん」の本場で、会場周辺にも多くのうどん店が営業しているほか、瀬戸内海の四季の旬の魚や、最近では「骨付き鳥」等も人気となっており、多彩なグルメを楽しむことができます。

また、瀬戸内海国立公園の多島美を生かした「瀬戸内国際芸術祭」を 3 年おきに開催しており、現在、来年度の開催に向けて準備を進めている「瀬戸内国際芸術祭 2016」では、春、夏、秋の総計 108 日間の会期で、小豆島、直島、豊島など 14 の会場を舞台に、島ならではの自然、民俗的資源、生活や歴史等を活かしたアートプロジェクト等を展開していきます。

御来県の皆様には、うどんだけではなく、様々なグルメやイベント等を御堪能いただき、香川県の魅力を発見していただければと思います。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



サンポート高松